

キルトジャパン

針休めの針仕事 2018年7月号夏 174号

飾れる針道具 サンボンネットのピンクッション

倉石泰子

●用意するもの●

用意するもの

本体用布…50×35cm

B4 (36.4×25.7cm) サイズの厚さ0.1cm程度の厚紙…1枚

詰め綿、リボン、ビーズ、造花、手芸用ボンド適宜

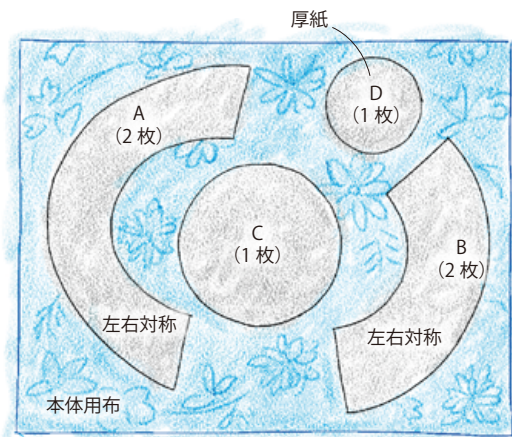
※縫い糸は、強度のあるミシンキルト糸を使用する

*単位は cm

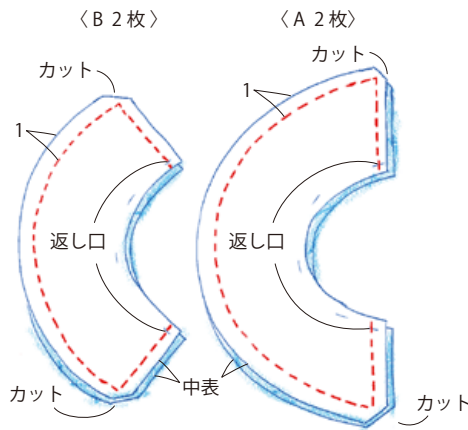


撮影/宮下昭徳
スタイリスト/井上輝美
イラスト/小池百合穂

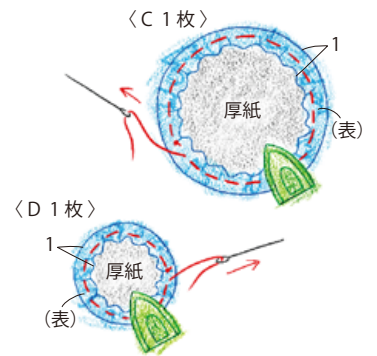
1 厚紙を型紙に合わせてカットし、各パーツを用意します。これを使って本体用布も裁断します。
※縫い代をすべて1cmつける。



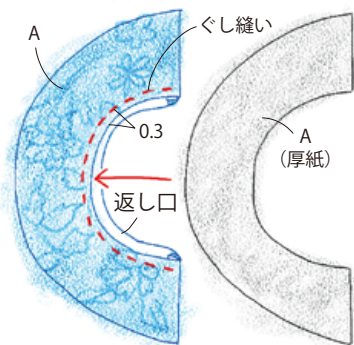
2 A・Bをそれぞれ中表に合わせて返し口を残して細かく縫います。
※角はカットしておきます。



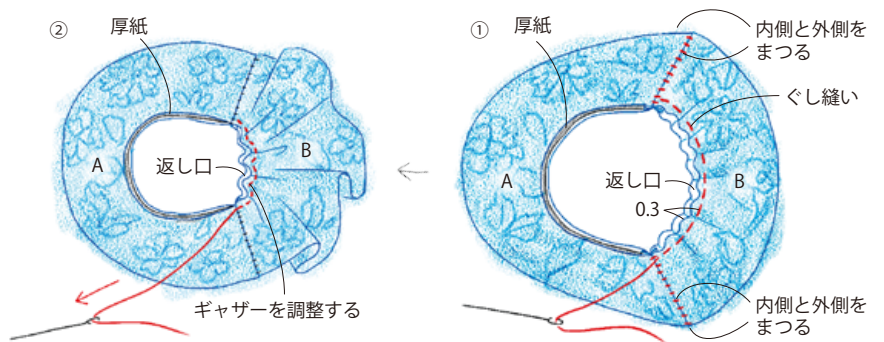
3 C・Dに厚紙をのせ、周囲をぐし縫いし、糸をしぼり厚紙を取りアイロンで整えます。



4 Aを表に返し、厚紙を差し込み、ぐし縫いで仮止めます。



5 ①Bの返し口をぐし縫いし、ギャザーを寄せ、A・Bの端を重ね、内側と外側の生地をすくってまつります。
②後で縫うDの大きさに合わせ、ギャザーを調整します。



キルトジャパン

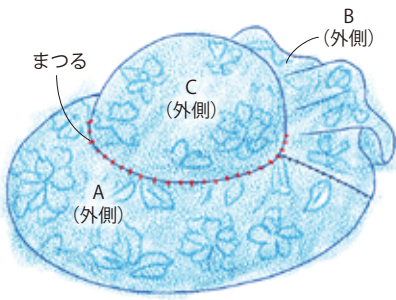
針休めの針仕事 2018年7月号夏 174号

飾れる針道具 サンボンネットのピンクッション

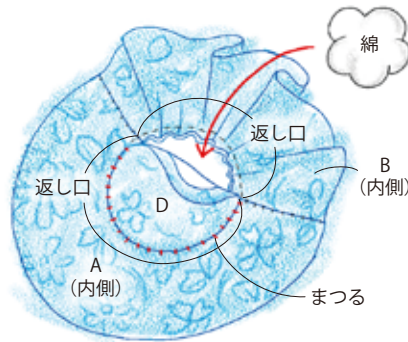
倉石泰子



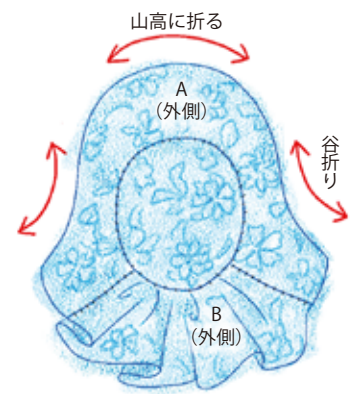
6 Cを、A・Bに縫いつけます
※内側にも縫いつけます。



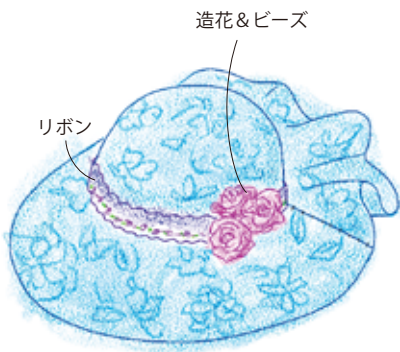
7 中に綿を詰め、A・Bの返し口にDを当て、周囲をまつります。



8 Aをやさしく手で折るようにしてカーブをつけます。

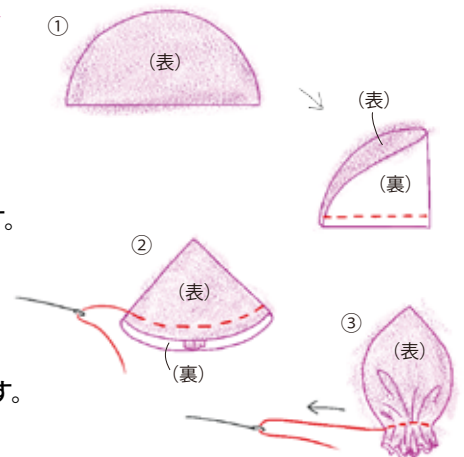


9 クラウンにリボンを巻き、手芸用ボンドで貼り、好んで造花やビーズを飾れば完成!



ワンランク上のお手軽テクニック 簡単にできる、 美しい立体花びら

- ① 半円に切った布を中表にして二つ折りし、直線の部分を縫います。
- ② 表に返して縫い目が中心にくるように折ります。
- ③ 下をぐし縫いして絞れば完成。
※大きさや数を変えて作ると、立体的で美しい花びらが完成します。



キルトジャパン

針休めの針仕事 2018年7月号夏 174号

飾れる針道具 サンボンネットのピンクッション
倉石泰子

実物大型紙

